

平成19年度 事務事業評価表	担当	市民福祉部 長寿課	内線等	2122
事務事業名	配食サービス事業		事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等	蒲郡市配食サービス事業実施要綱		A 法令	D その他

総合計画での位置付け

基本目標	3. 健康で安心して暮らせるまちづくり	施策名	高齢者福祉
------	---------------------	-----	-------

事務事業の内容

対象（受益者）	概ね65歳以上の特定高齢者やひとり暮らし、高齢者のみ世帯及び栄養改善は必要と認められた高齢者に
手 段	昼食を有料で週3回の配食サービスを行い
想定する成果	食生活を通して高齢者が自分らしい日常生活を送れるよう支援する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
利用者世帯	175世帯	159世帯	200世帯
延利用者数	18,819世帯	16,288世帯	21,800世帯
ひとり暮らし 老人+高齢者 世帯	3,508世帯	3,600世帯	3,847世帯
配食委託料	8,442千円	7,619千円	9,827千円

成果指標名	利用率	1食あたりの配食委託料
成果指標の説明	利用者世帯 / 一人暮らし老人 + 高齢者世帯	配食委託料 / 延利用者数

事業の進捗状況 (介護保険事業特別 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		5.0%				4.4%				5.2%			
成果指標		449円				468円				451円			
事業費	事業費	8,442				7,619				9,827			
	人件費	778				781				785			
	(人数)	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0	正規	0.1	非常勤	0.0
	合計	9,220				8,400				10,612			
財源内訳	国	69				147				0			
	県	35				73				0			
	市債												
	その他												
	一般財源	9,116				8,180				10,612			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	1	2	1	1	高齢化は進んでいるが、配食の希望者は増加傾向にないし、対象者においても中止している方がいる。
経済効率性	2	2	2	2	サービス提供するにあたり、利用者負担させることで一応の成果をあげているが負担金の見直しを要する。
事務効率性	2	2	2	2	委託事業ではあるが、一部市職員が執行しているので完全委託したい。
必要性	2	3	2	3	地域支援事業として、必要なサービスである。
小計	7	9	7	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	福祉関係機関を介して介護予防の観点からの利用申込みがある。
合計	9	9	9	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	「食」の自立の観点から配食だけではなく栄養改善、口腔ケア等の総合的な利用調整によりサービス提供を行うことが必要である。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
介護保険法の改正で、より介護予防を重視する施策が行われることになり、介護保険制度のサービスとして例えば週5日配食するとか栄養指導と合わせ配食するとかの総合的な組み立てる必要がある。
上記改善点の実施状況
地域支援事業の一つとして特定高齢者の栄養改善としての配食サービスの提供が出来た

今後さらに改善すべき点

国の補助金が特定高齢者への配食のみを支給対象としたことから、利用者負担金(1食300円)の見直しを要する。

平成21年度予算に反映する項目

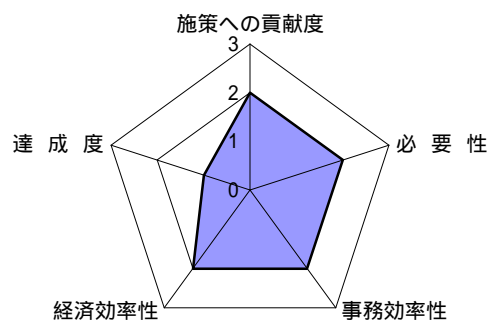
--

今後の方向性

見直し、縮小

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点